

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月17日

計画の名称	歴史と文化に根ざした市街地の創造（第2期）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	赤穂市												
計画の目標	赤穂城跡公園を整備することにより、歴史と文化に根ざした魅力ある市街地を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	277	A	277	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 （R3当初）	中間目標値 （R5末）	最終目標値 （R7末）
1	赤穂城跡公園内の本丸門と近藤源八長屋門における直近3年における土日祭日の入場者数の平均53千人/年（R3）から53千人/年（R7）へと、現状維持をめざす。 赤穂城跡公園内の本丸門と近藤源八長屋門における土日祭日の入場者数を測定する。	53千人/年	53千人/年	53千人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
東備西播定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A全て												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	赤穂市	直接	赤穂市	—	—	都市公園事業（赤穂城跡公園）	園路、広場、修景施設等	赤穂市	■	■	■	■	■	277	—	
												小計						277	
											合計						277		

交付金の執行状況


(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	11				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	11				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	11				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	1 歴史と文化に根ざした市街地の創造	交付対象	赤穂市
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度 (5年間)		



凡例		
番号	記号	事業名
1-A-1		赤穂城跡公園整備事業

事前評価チェックシート

計画の名称： 歴史と文化に根ざした市街地の創造（第2期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○